

レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP

— RETAN PG ECO —

# DIAMOND CLEAR



RETAN PG ECO

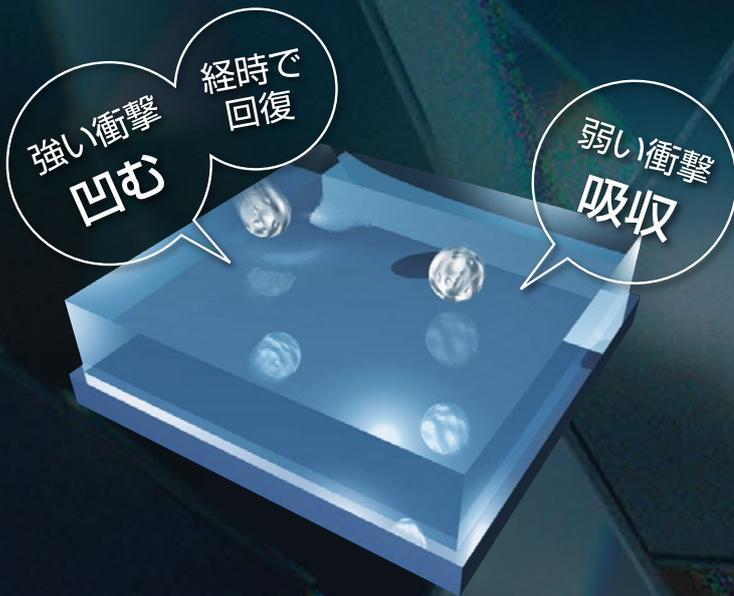
# DIAMOND CLEAR HP

レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤー HP

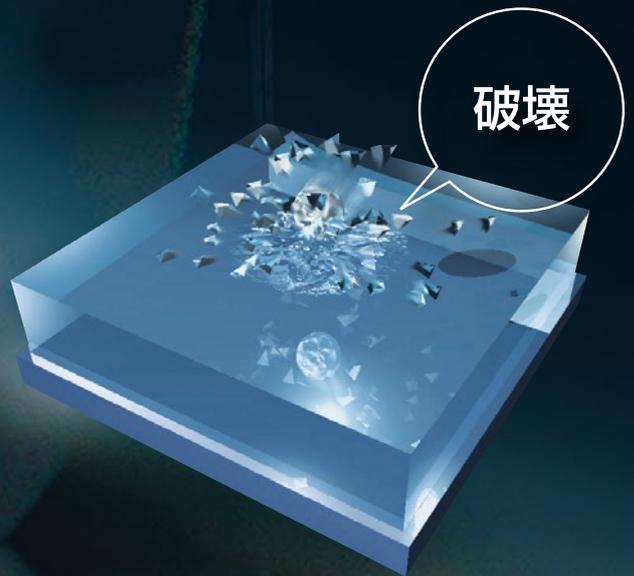
高仕上りはそのままに『乾燥時間の短縮』と『磨き作業性』の更なる向上を実現した耐擦り傷性塗料採用車の環境対応型補修用クリヤー【トヨタ自動車「Self-Restoring Cort」対応】

「ガラスの硬さ」  
【ガラス】傷つきにくい  
が割れる

+ 「ゴムのような柔軟性」  
【ゴム】割れにくい  
がキズがつく



レタンPGエコダイヤモンドクリヤー HP



一般の塗膜

## 製品の特長

- 作業者の安全そして周辺環境への配慮  
・特化則対応 ・「PRTR法」対応
- 磨き作業性が向上
- オールシーズン安定して使用できる  
製品ラインナップ
- 指触乾燥時間を大きく短縮  
標準ベース/硬化剤 使用時で8分/20℃

# 塗装仕様

No.	工程	要領	作業のポイント
1	下地処理 	プラサフ部をP800ペーパーで研磨し、旧塗膜部をP1500相当のスコッチブライト(ウォッシュコンパウンド)で足付けする <b>【クリアーボカシ部の足付け】</b> P3000以上で足付けを行い、その傷が消えるまでコンパウンドの細目で研磨する	ボカシ部は深い傷が入らない様に均一に足付けする
2	脱脂・清掃 	エコクリーナー … 汚れの除去 タッククロス … ゴミの拭き取り	エアブローでよく乾燥させること
3	カラーベース 	各種カラーベースを塗装(塗装仕様書を参照) <b>【適用可能なカラーベース】</b> ・レタンWBエコ EV ・レタンPGハイブリッドエコ(注1) ・レタンPG80 <small>注1:ハイブリッドエコ1液仕様での塗装も可能</small>	
4	セッティング 	常温乾燥(指触乾燥待ち)	20℃×8分 (標準仕様の場合)
5	クリアー塗装 	①捨て塗り ②仕上げ塗り(2回) <b>【調合比率】</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             レタンPGエコ ダイヤモンドクリアーHP ベース              ベース <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100</span> + 硬化剤 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">50</span> + レタンPGエコ シンナー <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span>  <small>または レタンPGエコ HSシンナー <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span></small> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             レタンPGエコ ダイヤモンドクリアーHP Sベース              ベース <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100</span> + 硬化剤 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">50</span> + レタンPGエコ シンナー <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span>  <small>または レタンPGエコ HSシンナー <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10</span></small> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</span> </div>	①捨て塗り: 全体を均一に捨て塗りする ②仕上げ塗り: 指触乾燥を確認後、 2回塗りで肌を整える
6	クリアーボカシ 際の肌調整 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ①肌調整1回目  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>              レタンPGエコ ボカシレベリング剤 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">50</span> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ②肌調整2回目  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100</span>              レタンPGエコ ボカシレベリング剤 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100</span> </div>	レタンPGエコ ボカシレベリング剤で希釈しながらボカシ部のザラツキ部に薄く塗装し、肌を整える
7	乾燥 	セッティング: 15分 強制乾燥: レタンPGエコ ダイヤモンドクリアーHP ベース 60℃×20分以上 レタンPGエコ ダイヤモンドクリアーHP Sベース 60℃×30分以上	ボデー温度キープ クリアーボカシ部は2倍の時間

## ① 製品概要

製品コード	製品名	容量	危険物分類
381-345	レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP ベース	16L / 4L	4類第2石油類(非水溶性)
381-346	レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP Sベース	4L	4類第2石油類(非水溶性)
381-905	レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP 硬化剤	4L / 2L	4類第2石油類(非水溶性)
381-906	レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP S硬化剤	4L / 2L	4類第2石油類(非水溶性)

## ② 製品仕様

製品		レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP ベース	レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP Sベース
配合量	ベース	100	100
	硬化剤	50	50
	シンナー	10	10
指触乾燥時間(HP 硬化剤使用時)		8分/20℃	15分/30℃
指触乾燥時間(HP S 硬化剤使用時)		10分/20℃	17分/30℃
コンパウンド磨き乾燥時間		20分/60℃	30分/60℃
屋外放置可能時間		コンパウンド磨き乾燥時間 +16時間	コンパウンド磨き乾燥時間 +16時間
希釈塗料の可使用時間 ※1		1.5時間以内/20℃	3時間以内/20℃

※1) 調合後(特に高温時)はなるべく早く塗装してください。

※乾燥時間は、カラーベース・クリヤーの膜厚やブースの風速など諸条件により変動します。

※ボカン際の乾燥時間は上記の2倍必要となります。

## ③ 主剤および硬化剤の選び方

主剤	硬化剤	温度 (℃)											
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50		
レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP ベース	標準	HP ベース / HP 硬化剤											
	S					HP ベース / HP S硬化剤							
レタンPGエコ ダイヤモンドクリヤーHP Sベース	標準					HP Sベース / HP 硬化剤							
	S								HP Sベース / HP S硬化剤				

※ブース内の風速等で変化します。

## ④ スプレーガンの標準条件

項目	ブロック塗装	ボカシ塗装
吐出量(回転数)	2.5~3.0	1.5~2.0
エア圧力(手元)(MPa)	0.20~0.25	0.10~0.20
スプレーガン距離(cm)	10~25	15~20
パターン	全開	全開

※KIWAMI-1-14KP6の場合

## ● ご使用上の注意事項

- 引火性の液体である。
- 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 健康に有害な物質を含んでいる。

本品は、人体に有害なイソシアネート系の硬化剤を使用しています。この中には不純物として毒性の強い低分子イソシアネートが微量含まれています。従って、塗装にあたっては下記事項について厳重に注意ください。

- 1) スプレーミストの吸入による中毒  
軽症の場合…不快感・頭痛・セキ。  
中症の場合…喉頭炎と同様の症状。  
重症の場合…ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作を起こす。
- 2) 皮膚に触れることによる炎症。  
塗料やスプレーミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こすことがあります。
- 3) 一度中毒すると再発しやすい。  
一度中毒したり炎症を起こしたりすると敏感になり再発しやすくなる傾向がありますから注意してください。気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や、既往症のある人、皮膚カブレを起こしやすい人、アレルギー体質の人には、作業には従事させないでください。  
また、本品には、第2種有機溶剤を使用しています。一般に第2種有機溶剤を使用した塗料に共通な危険性と有害物があり、作業環境と取扱い方法が義務づけられています。安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に右記の事項を守ってください。

## ● 設備上の注意事項

本品は、第2種有機溶剤を使用していますから「有機溶剤中毒予防規則」や「消防法」などによって、作業場の環境などを下記のようにととのえることが義務づけられています。

- 1) 塗装ブースの制御風速は有機溶剤中毒予防規則に従ってください。
  - 2) ブースの排気孔から外部にスプレーミストがもれないようにするために、水洗もしくは布などによるミストの除去装置がつけられていることが必要です。
- 本品などのポリウレタン樹脂塗料では、塗装場周辺へのイソシアネートの飛散を防止するために上記のことが重要です。イソシアネートは水分にあうとただちに反応して毒性が消えますから、人家の密集地ではできるだけ水洗ブースを使うようにしてください。ドライブースの場合は、排気をさらにウォーターシャワーに通せば安全です。
- 3) 塗装作業中は作業場内の換気を十分行い、大気中の有機溶剤濃度が許容濃度以下になるようにしてください。
  - 4) 強制乾燥を行う場合は、溶剤の蒸気濃度が爆発限界（溶剤にもよるが容量比で1.1～7%）以下に保たれるように管理してください。
- ジェットヒーターなどの直下加熱方式は、引火の危険が非常に大きいため、使わないでください。
  - その他、照明器具、モーター、スイッチなど、スパークの飛ぶおそれのある器具は、必ず防爆形を使ってください。

## ● 製品取扱上の注意事項（安全衛生他）

下記の注意事項を守ってください。  
詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

- 予 防 策  
取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。  
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。  
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。  
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。  
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。  
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。  
本来の目的以外に使用しないこと。  
指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。  
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。  
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。  
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。  
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 対 応  
目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。  
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。  
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

- 保 管  
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。  
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。  
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

- 廃 棄  
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

- 施工後の安全  
本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



## 関西ペイント販売株式会社

 関西ペイントホームページ  
[www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757  
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073  
北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

東京 TEL (03) 5711-8903 FAX (03) 5711-8933  
中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981  
大阪 TEL (06) 4965-3110 FAX (06) 4965-3117

中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285  
四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950  
九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。



(25年5月01刷PKO) カタロNo.164